

科目名	日本のサブカルチャー		科目ナンバリング	L-JSCL2-07.S	単位数 時間	2単位	対象 学年	2年	開講 学期	後期
			科目コード	J56008		30時間				
区分	専門教育科目	選択必修	担当者名	鎌田 学			授業 形態	講義	単独	
授業の概要等	<p>【授業の主旨】 “Cool Japan”と言われて久しい日本の文化（産業）について理解を深める。ダンス、演劇、漫画、アニメ、ゲーム、アイドル、ファッションなど広範な領域の大衆文化、あるいはサブカルチャーについて、参加者が独自にケーススタディを展開し個人発表を行う。 【ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項】 ディプロマポリシーの5に関連し、カリキュラムポリシーの5-4に関連している。</p>									
到達目標	各自独自の視点から、広義の「日本の文化、サブカルチャー」について調べ、発表できるようになること。また、戦後から今日までの日本文化のあり方を、諸外国との関連・関係において捉えられるようになること。									
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容 ・ 授 業 時 間 外 の 学 修				備 考		
第1回	ガイダンス			授業の目的と方法について						
第2回	外国人から見たニッポン			“Cool Japan”論を読む				ディスカッション		
第3回	外国人から見たニッポン②			“Cool Japan”論を読む				ディスカッション		
第4回	外国人から見たニッポン③			“Cool Japan”論を読む				ディスカッション		
第5回	戦後サブカルチャー史			80年代を映像で概観する				ディスカッション		
第6回	戦後サブカルチャー史②			90年代を映像で概観する				ディスカッション		
第7回	戦後サブカルチャー史③			00年代を映像で概観する				ディスカッション		
第8回	個人発表			質疑応答				プレゼンテーション& ディスカッション		
第9回	個人発表②			質疑応答				プレゼンテーション& ディスカッション		
第10回	個人発表③			質疑応答				プレゼンテーション& ディスカッション		
第11回	個人発表④			質疑応答				プレゼンテーション& ディスカッション		
第12回	個人発表⑤			質疑応答				プレゼンテーション& ディスカッション		
第13回	個人発表⑥			質疑応答				プレゼンテーション& ディスカッション		
第14回	個人発表⑦			質疑応答				プレゼンテーション& ディスカッション		
第15回	まとめ			授業のまとめ						
評価方法及び評価基準	授業への参加度（50%）、個人発表（50%）。後者の評価は、内容、論理的構成、表現力の観点によって行う。									
課題等	文献コピーを予め熟読する、発表のスライドを作成する等。									
事前事後学修	予習に3時間程度必要。また、発表のための材料集めを不断に行うこと。									
教材教科書参考書	コピーにて配布。									
留意点	学科問わず、国際文化交流に関心のある人はぜひ参加されたい。									